

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number : 01-268247

(43)Date of publication of application : 25.10.1989

(51)Int.CI.

H04M 3/50

H04M 3/42

(21)Application number : 63-094497

(71)Applicant : **NIPPON TELEGR & TELEPH CORP**  
**<NTT>**

(22)Date of filing : **19.04.1988**

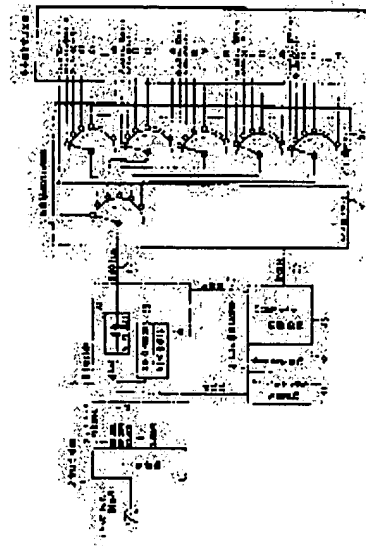
(72)Inventor : KAWAMURA MIKIO  
MUTA ATSUSHI

**(54) MENU GUIDING TYPE TELEPHONE SERVICE SYSTEM**

**(57)Abstract:**

**PURPOSE:** To make the utilization of the title system convenient by unifying the telephone number of telephone service and guiding each service menu by means of a talkie.

**CONSTITUTION:** The originating subscriber of an originating telephone set connected with a telephone exchange sends a dial signal in accordance with a service menu guidance upon receiving the guidance from a voice source for guiding service menu through a voice source channel switching section 5 and voice source channel L2. Then a channel selection controlling section 4 receives the dial signal and controls the switching section 5 so as to switch the connection of the voice source channel L2 from the then connected channel to the channel connecting the telephone service voice source requested by the originating subscriber. Therefore, more convenient and efficient telephone service can be realized as compared with the conventional telephone service system of a voice source-wise telephone number system.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

⑪ 公開特許公報(A) 平1-268247

⑫ Int. Cl.<sup>4</sup>

H 04 M 3/50  
3/42

識別記号

庁内整理番号

Z-7925-5K  
J-7925-5K

⑬ 公開 平成1年(1989)10月25日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全6頁)

⑭ 発明の名称 メニュー案内式テレホンサービス装置

⑮ 特 願 昭63-94497

⑯ 出 願 昭63(1988)4月19日

⑰ 発 明 者 川 村 幹 男 東京都千代田区内幸町1丁目1番6号 日本電信電話株式会社内

⑱ 発 明 者 牟 田 篤 東京都千代田区内幸町1丁目1番6号 日本電信電話株式会社内

⑲ 出 願 人 日本電信電話株式会社 東京都千代田区内幸町1丁目1番6号

⑳ 代 理 人 弁理士 並木 昭夫 外1名

明 細 書

1. 発明の名称

メニュー案内式テレホンサービス装置

2. 特許請求の範囲

1) サービスメニュー案内用音源を含む各種テレホンサービス用音源のそれぞれにつながるチャンネルと、音源通話路を前記複数のチャンネルの中の何れか一つに選択的に接続する音源通話路切替部と、

電話交換機接続により着信した発信電話機に应答すると共に、該発信電話機を前記音源通話路に接続する着信回路部と、

前記音源通話路切替部及び音源通話路を介してサービスメニュー案内用音源からサービスメニュー案内を受けた前記発信電話機の発信者がその案内に従って送出するダイヤル信号を受信し、それに応じて前記音源通話路を、それまで接続されていたチャンネルから、発信者の所望するテレホンサービス用音源につながるチャンネルに切り替えて接続するよう前記音源通話路切替部を制御する

チャンネル選択制御部と、

から成ることを特徴とするメニュー案内式テレホンサービス装置。

3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本発明は、メニュー案内式テレホンサービス装置に関するものであり、更に詳しくは、各種テレホンサービス用の電話番号を一本化し、テレホンサービスを受けようとする者がその番号に着信したら各種サービスメニューをトーカー案内し、その中からその者が選択するサービスを二次ダイヤルによって入力させ、所望のテレホンサービス用トーカーにつなぎ替えてサービスを提供することのできるメニュー案内式テレホンサービス装置に関するものである。

(従来の技術)

従来、テレホンサービスに関しては、サービスを提供する音源ソース別に、電話番号を異にしてサービスを提供していた。

(発明が解決しようとする課題)

このように、従来のには音源ソース別にテレホンサービスをを行っているので、次のような問題点がある。

(1) 音源ソース別にテレホンサービス電話番号が異なるため、應取者（サービスを受けようとする者）は、そのソース毎に電話番号を検索しなければならず利用時に不便である。

(2) 音源ソース毎に、トラヒック見合いの代表テレホンサービス回線を作成する必要がある、回線使用が非効率的で不経済である。

(3) 臨時サービス時には、その都度毎にテレホンサービス回線の作成工事を要すると共に、電話番号を周知させることが困難である。

(4) 突発的サービスは、回線作成工事を伴うので即応的には行えない。

そこで本発明は、前記の問題点を解決するため、  
(1) 各種テレホンサービスメニューをチャンネル化してテレホンサービス電話番号の一本化を図り、チャンネル化したサービスメニューをトーカー案内して利用の便宜を図る。(2) 電話機の簡単なダ

イヤル操作により、各種サービスメニューの選択聴取を可能とする。(3) あらかじめトラヒック見合いでテレホンサービス代表回線を用意し、各種音源ソース共、共通使用として集積化を図り、回線使用の効率を高め、経済化を図ると共に、突発的サービスをも可能とする。以上の点を改善し、より効率的にテレホンサービスの提供が行なえるメニュー案内式テレホンサービス装置を提供することを目的とする。

〔課題を解決するための手段〕

上記目的達成のため、本発明では、サービスメニュー案内用音源を含む各種テレホンサービス用音源のそれぞれにつながるチャンネルと、音源通話路を前記複数のチャンネルの中の何れか一つに選択的に接続する音源通話路切替部と、電話交換機接続により着信した発信電話機に应答すると共に該発信電話機を前記音源通話路に接続する着信回路部と、チャンネル選択制御部と、によりメニュー案内式テレホンサービス装置を構成した。

〔作用〕

電話交換機接続により着信した前記発信電話機の発信者は、音源通話路切替部及び音源通話路を介してサービスメニュー案内用音源からサービスメニュー案内を受けると、その案内に従ってダイヤル信号を送出する。するとチャンネル選択制御部がこれを受信し、それに応じて前記音源通話路を、それまで接続されていたチャンネルから、発信者の所望するテレホンサービス用音源につながるチャンネルに切り替えて接続するように音源通話路切替部を制御する。

これにより従来のにある音源ソース別電話番号方式のテレホンサービス装置に比べ利用の便宜と、より効率的なテレホンサービスの提供が行える。

〔実施例〕

以下、図面を参照して本発明の実施例を説明する。

尚、実施例は一つの例示であって本発明の精神を逸脱しない範囲で、種々の変更或は、改良を行うことは言うまでもない。

第2図は、各種サービスメニューをサービス内

容毎に5つのジャンルに分け、チャンネル番号を付与する方法を示す説明図であり、一例として50種のサービスメニューをチャンネル化することを示している。

第2図において、例えばNo.1のメニューは天気予報サービスであるとする、チャンネル(CH)01の先に天気予報サービスを提供する音源(トーカー)がつながるわけである。

そして10種類ずつメニューをまとめてジャンルを構成する。従って50種類のメニューであればジャンルは5つになる。各ジャンルに0から4までの番号を付与しておき、メニュー案内トーカーにおいて、先ずジャンル(大雑把なメニュー内容の分野)とジャンル番号を案内し、サービスを受けようとする者が、受けんとするサービスの種類によってとりあえずどのジャンル番号を選択したら良いかを理解させる。

サービスを受けようとする者が、ジャンル番号を選択したら次に各ジャンル番号に属するメニュー番号をメニュー案内トーカーによって案内し、

所望のメニューに対応したメニュー番号を選択できるようにする。

第3図は、本発明によるテレホンサービス装置によってテレホンサービスを受けようとする者（発呼者）がサービスを受けて終了するまでの手順を示した流れ図である。

先ず発呼者がテレホンサービス電話番号をダイヤルして、交換機接続により着信すると、ジャンル対ジャンル番号対応のジャンル案内トーキーを送出する。

発呼者がこの案内によりジャンル番号を索引して、ジャンル選択のための二次ダイヤル第1数字をダイヤルすると、ジャンルが選択され、ジャンル内のサービスメニュー対メニュー番号を案内するサービスメニュー案内トーキーが送出される。

次にこの案内により発呼者がメニュー番号を索引して、メニュー選択のための二次ダイヤル第2数字をダイヤルすると、目的メニューのトーキーが発呼側へ、受話器を置くまで送出される。チャンネル番号は二次ダイヤルの第1数字と第2数字

に対応する。

第1図は本発明の一実施例を示すシステム系統図である。同図において、1はPB（プッシュボタン）式電話機であり、これによってテレホンサービスを受けようとするわけである。2は電話機とテレホンサービス回線を接続する交換機である。3は着信回路部で、カップラー回路31、自動応答回路32、自動復旧回路33、から成っており、着信時に交換機2へ自動応答すると共に、発信電話機1と音源通路12を接続する機能を有し、又終話時に交換機2から送出される話中音を検出して自動復旧させる機能を有する。

4はチャンネル選択部であり、電話機1からの二次ダイヤルを受信するプッシュボタン信号受信回路41と、その信号を解析してチャンネル番号を展開する番号展開回路42と、切替スイッチ制御回路43と、から成っている。5は音源通路切替部でジャンル選択スイッチ51とメニュー選択スイッチ52から成っている。

音源通路切替部5は、チャンネル選択部4の

7

切替スイッチ制御回路43によって制御され、各種音源の通路（チャンネル）を切り替えて目的トーキー（音源）を選択して音源通路12に接続する。

なお、ジャンル選択スイッチ51とメニュー選択スイッチ52は、平常時はそれぞれホームポイントに接続されており、ジャンル選択スイッチ51のホームポイントにはジャンル案内トーキー音源が、メニュー選択スイッチ52の各ホームポイントにはジャンル毎のメニュー案内トーキー音源が、それぞれ接続されている。

6は各種音源送出部であり、ジャンル案内トーキー音源と、ジャンル別メニュー案内トーキー音源及び、各種メニューのトーキー音源が収容され、音源通路切替部5の各選択スイッチへ接続されている。

7は同様の回路を持つテレホンサービス回線であり、トラヒック見合いによって代表回線を構成する。L1は通話線、C1、C2は制御線である。

次に、一連の動作を説明する。

8

発信電話機1によりテレホンサービス電話番号をダイヤルすると、交換機接続によりテレホンサービス回線が接続され着信回路部3が起動する。着信回路部3が起動すると、自動応答回路32により交換機2に応答し、発信電話機1と着信回路部3が接続される。

着信回路部3からの通話線は、音源通路12として音源通路切替部5のジャンル選択スイッチ51と接続されており、このスイッチ51の平常ポイントからジャンル案内トーキーが発信電話機1へ送出される。

発呼者がジャンル案内トーキーを聴取した後、二次ダイヤルの第1数字をダイヤルすると、チャンネル選択制御部4のプッシュボタン信号受信回路41で受信し、次に番号展開回路42でダイヤルした番号を展開し、切替スイッチ制御回路43により音源通路切替部5のジャンル選択スイッチ51を駆動して通話線を目的のジャンルポイントへ接続する。

通話線が目的のジャンルポイントへ接続される

9

10

と更に、各種メニュー選択スイッチ52の平常ポイントへ接続され、各ジャンル別のメニュー案内トーキーが発信電話機1へ送出される。

発信者がジャンル別メニュー案内トーキーを聴取して更に二次ダイヤルの第2数字をダイヤルすると、再びチャンネル選択制御部4のプッシュボタン信号受信回路41で受信し、次に、番号展開回路42でダイヤルした番号を展開して切替スイッチ制御回路43により音源通路切替部5の当該ジャンルに収容される各種メニュー選択スイッチ52が駆動されて通話路を切替え目的チャンネルのトーキーが発信電話機1へ送出される。

各選択スイッチ51、52は聴取中自己保持をし、通話トレーンを保持する。発信者が聴取を終えて受話器を置けば、交換機2のトレーンが切断され交換機2より着信回路部3へ話中音が送出される。

この話中音を着信回路部3の自動復旧回路33で検出し、音源通路切替部5の各選択スイッチ51、52を平常ポイントに復旧させると共に、

各部を復旧させ次の呼に備える。

以上説明したように各種テレホンサービスメニューをチャンネル化して、テレホンサービスの電話番号を一本化し、トーキー案内により各種メニューを検索した後、発信電話機のダイヤル操作により目的メニューを選択してテレホンサービスの受給ができる。又、テレホンサービス回線は各音源ソース共、共通に使用するので集積化が図られ回線使用の効率を高めて経済化が図られると共に、テレホンサービス毎の回線作成工事が不要であり、突発的サービスをも可能である。

#### 〔発明の効果〕

以上説明したように、本発明によれば、テレホンサービス電話番号を一本化したことと、各サービスメニューをトーキー案内することにより、電話番号の検索および各サービスメニューを周知させることが容易になり、利用の便宜が図られる。又テレホンサービス回線を全音源共、共通に使用したことにより、集積化がなされ、回線利用の効率化と経済化が図られると共に、音源ソースを用

1 1

1 2

意するだけで、突発的なサービスも即応性をもって提供可能となる。

これらの特徴により、より効果的なテレホンサービスの提供が出来る利点がある。

#### 4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明の一実施例を示すシステム系統図、第2図はサービスメニューをサービス内容毎にジャンルに分けチャンネル番号を付与する方法を示す説明図、第3図は本発明によるテレホンサービス装置によってサービスを受ける際の手順を示した流れ図、である。

#### 符号の説明

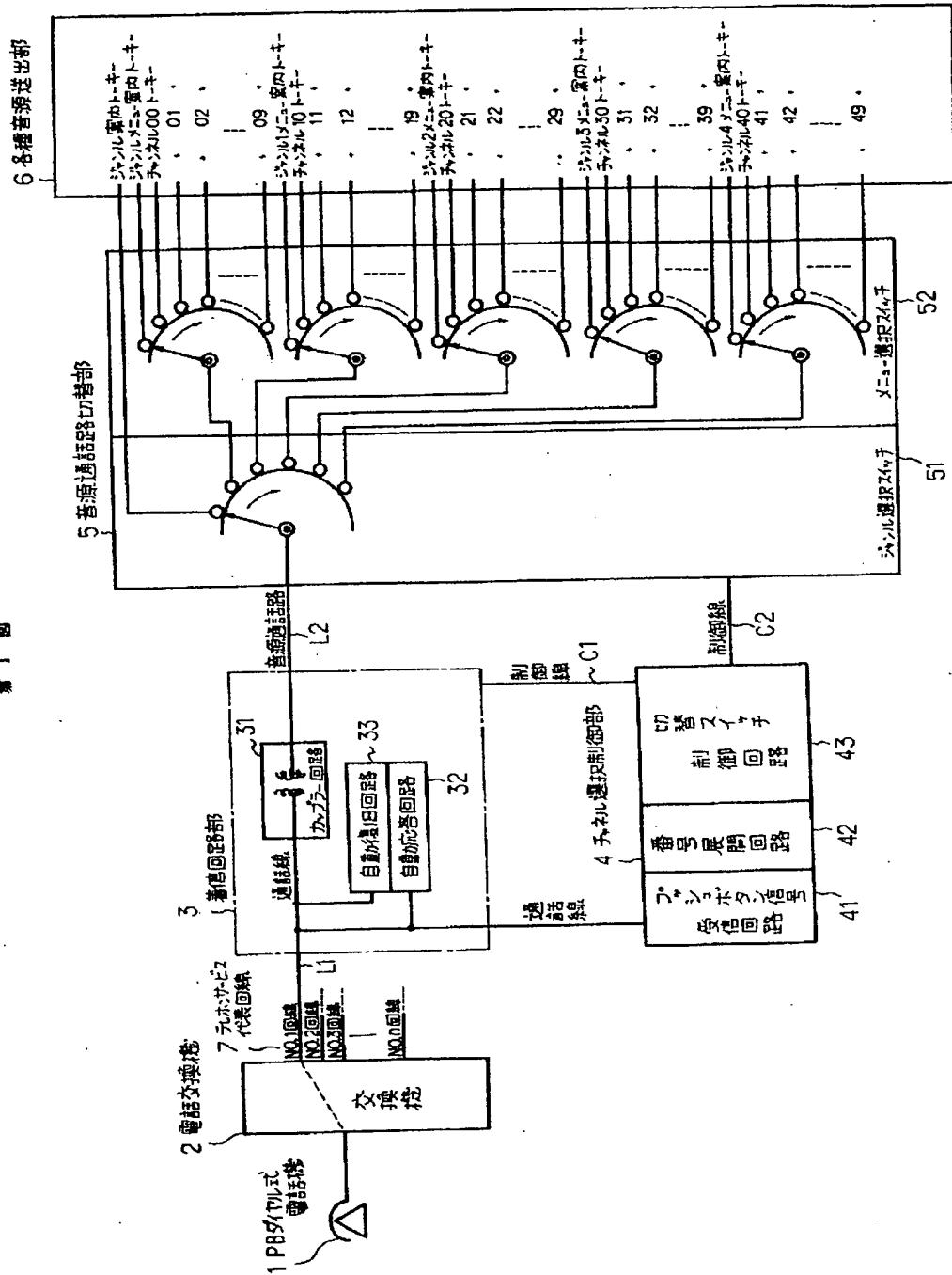
1…電話機、2…交換機、3…着信回路部、4…チャンネル選択制御部、5…音源通路切替部、6…各種音源送出部、7…テレホンサービス代表回線

代理人 弁理士 並 木 昭 夫

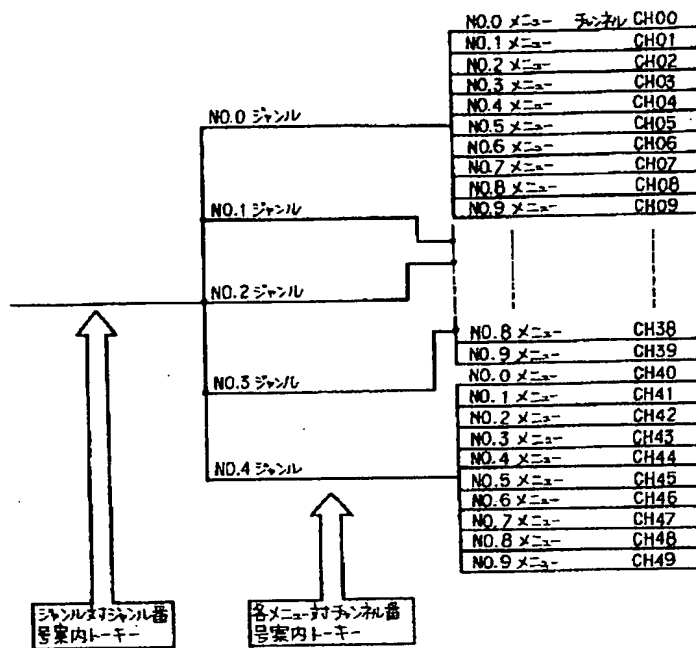
代理人 弁理士 松 崎 清

1 3

第 1 図



第 2 図



第 3 図

